VersaPro

NEC

ワイヤレスLAN(無線LAN)について

PART 1 ワイヤレスLANとは ―― 11
PART 2 ワイヤレスLANを使う(Windows XPの場合) ―― 19
PART 3 ワイヤレスLANを使う
(Windows Me/Windows 98/Windows 2000の場合) ―― 27
PART 4 ORiNOCO クライアントマネージャ ―― 63
PART 5 トラブル解決Q&A ―― 69
PART 6 付録 ―― 77

はじめに

　このマニュアルは、パソコンでワイヤレスLAN機能を使用する方法について説明しています。

2001年10月　初版

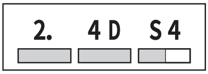
- 本機能を使用する前に、必ずこのマニュアルと本機に添付の『はじめにお読みください』をお読みください。
- このマニュアルは、必要なときに参照できるよう、お手元に保管してください。

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 または Microsoft® Windows® XP Professional Edition operating system 日本語版
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 日本語版

ご注意

● 本製品には、2.4GHz帯高度化小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品は、2.4GHz全帯域(2.4GHz～2.4835GHz)を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域(2.427GHz～2.47075GHz)が回避可能です。
変調方式としてDS-SS方式を採用しており、与干渉距離は40mです。



● 本製品は、日本国における電波法施行規則第6条第4項第4号「小電力データ通信システムの無線局」を満足した無線設備であり、日本国における端末設備等規則第36条「電波を使用する自営電気通信端末設備」を満足した端末設備です。
分解や改造などを行っての運用は違法であり、処罰の対象になりますので絶対に行わないでください。
また、本製品は日本国以外ではご使用になれません。

● 本製品の電波出力は、社団法人電波産業会が策定した「電波防護標準規格(RCR STD-38)」に基づく基準値を下回っています。

● 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。
- その他、本製品から移動体識別用特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、NEC 121コンタクトセンターまでご相談ください。

NEC 121コンタクトセンター
(フリーコール)0120-977-121

● 自動ドアや火災報知機等、自動制御機器の周辺では、本製品は使用しないでください。自動制御機器の電子回路に影響を与え、誤動作の原因となる場合があります。

● 一般の電話機やテレビ、ラジオ、その他の無線を使用する機器などをお使いになっている近くで本製品を使用すると、それらの機器に影響を与えることがあります(本製品の電源を入/切することで影響の原因になっているかどうか判別できます)。この場合、次のような方法で電波干渉を取り除くようにしてください。

- 本製品と影響を受けている装置の距離を離してください。
- 影響を受けている装置が使用しているコンセントと別の電気系統のコンセントから、本製品の電力を供給してください。
- 電話機やテレビ、ラジオの干渉について経験のある技術者に相談してください。

● トラック無線(CB無線)やアマチュア無線などを違法に改造した無線機から影響を受ける場合には、影響を受ける場所・時間を特定し、ご使用場所の管轄の電波管理局へ申し入れてください。
詳しくは、ご使用場所管轄の電波管理局へお問い合わせください。

● 他の無線機器から影響を受ける場合には、使用周波数帯域を変更するなど、混信回避のための処置を行ってください。さらに、前記処置を行っても影響が軽減されないときは、NEC 121コンタクトセンターまでご相談ください。

● 電子レンジなど、本製品と同じ周波数帯域を使用する産業・科学・医療用機器から影響を受ける場合には、使用周波数帯域を変更するなど、混信回避のための処置を行ってください。さらに、前記処置を行っても影響が軽減されないときは、NEC 121コンタクトセンターまでご相談ください。

● 本製品は、電波の特性上、設置場所によって通信距離や通信容量が異なります。

- **本製品は、ネットワーク名を設定することにより、無線ネットワークでの不正アクセスを防止することが可能です。**
- **本製品は、暗号キーを設定することにより、無線区間での漏洩・傍受を防ぐことが可能です。**
- **本製品のセキュリティ向上のため、ネットワーク名と暗号キーを定期的に変更されることをお勧めします。**

Microsoft、Windows、Windows NT、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Bluetooth™はその商標権者が所有しており、NECはライセンスに基づき使用しております。

その他、このマニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

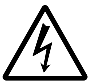
安全にお使いいただくために

このマニュアルでは、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

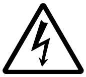
⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。
⚠注意	人が傷害を負う可能性が想定されること、および、物的損害のみの発生が想定されることを示します。

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。

 感電注意	感電の可能性が想定されることを示します。	 けが注意	けがを負う可能性が想定されることを示します。

■使用上の注意

⚠警告


感電注意


けが注意

- **埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、本製品をペースメーカー装着部から22cm以上離してご使用ください。**
- **満員電車の中など、人と人とが近接する状態となる可能性のある場所では、本製品の電源を切るかワイヤレスLAN機能をオフにしてください。**

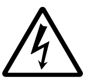
  これは心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方と近接する可能性があり、万が一にでもそれらの機器に影響を与えることを防ぐためです。
- **本製品の電波出力は、たとえば携帯電話などに比べて低く抑えられており、医療機器に与える影響はきわめて少ないものですが、使用に際しては各医療機関の指示に従って下さい。特に医療機関側が本製品の使用を禁止した区域では、本製品の電源を切るかワイヤレスLAN機能をオフにしてください。**

  また、医療機関側が本製品の使用を認めた区域でも、近くで医療機器が使用されている場合には、本製品の電源を切るかワイヤレスLAN機能をオフにしてください。

  詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。
- **現在各航空会社では、航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、本製品もその該当機器となります。電子機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがありますので、機内では本製品の電源を切るかワイヤレスLAN機能をオフにしてください。**

  詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

⚠注意


感電注意


けが注意

- **補聴器を装着されている方は、本製品のご使用により、補聴器にノイズなどを引き起こす可能性がありますので、ご使用前にご確認ください。**

目　次

安全にお使いいただくために 7

PART 1

ワイヤレスLANとは 11
ワイヤレスLAN機能 12
ワイヤレスLAN機能でできること 12
ワイヤレスLAN機能使用上の注意 13
ワイヤレスLAN製品との接続 13
ワイヤレスLAN機能のオン／オフ 15

PART 2

ワイヤレスLANを使う(Windows XPの場合）. 19
ワイヤレスLANの設定を行う 20
WARPSTAR(ベース)を使ってダイヤルアップ接続する 25

PART 3

ワイヤレスLANを使う(Windows Me/Windows 98/Windows 2000の場合）................27
ドライバのインストール 28
Windows Me/Windows 98の場合のインストール方法 28
Windows 2000の場合のインストール方法 31
インストールの確認 33
ユーティリティのインストール 35
ORiNOCO クライアントマネージャ 38
ORiNOCO クライアントマネージャを起動する 38
ORiNOCO クライアントマネージャの設定をする 38
ORiNOCO クライアントマネージャを終了する 38
レジデンシャルゲートウェイとの接続設定 39
無線LANアクセスポイントとの接続設定 44
WARPSTAR(ベース)を使ってダイヤルアップ接続する 49
ワイヤレスLAN機能のある機器との接続設定 51
ネットワークの設定 56

PART 4

ORiNOCO　クライアントマネージャ 63

ORiNOCO　クライアントマネージャ 64
電波環境の確認 64
接続確認 65

PART 5

トラブル解決Q＆A 69

トラブル解決Q＆A 70
通信ができない場合 70
通信がとぎれる場合、または通信速度が遅い場合 71
「ネットワークコンピュータ」で相手のパソコンが表示されない場合 .. 72
「ネットワークコンピュータ」上の相手パソコンのアイコンをダブルクリックしても内容が表示されない場合 73
「ORiNOCO　クライアントマネージャ」が日本語以外で表示された場合（Windows Me/Windows 98/Windows 2000の場合） 74
「コントロールパネルのアプレットを開く際にエラー発生・・・・」と表示された場合（Windows Me/Windows 98/Windows 2000の場合）.. 75
接続しているアクセスポイント（WARPSTAR（ベース）を含む）がいつの間にか切断された 76

PART 6

付録 77

「ORiNOCO　クライアントマネージャ」の削除（アンインストール）.. 78
OSを変更する 80
Windows 2000に変更する場合 80
ワイヤレスLANドライバのインストール手順 80
仕様一覧 82
ワイヤレスLAN機能部仕様 82

PART

1

ワイヤレスLANとは

ワイヤレスLANの概要について説明しています。

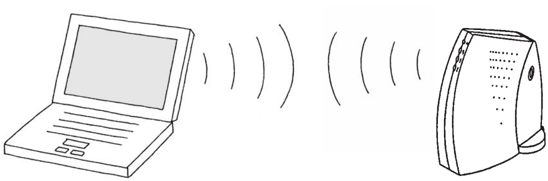
ワイヤレスLAN機能

ワイヤレスLAN機能でできること

本機のワイヤレスLAN機能を使用することで、次のようなことができます。

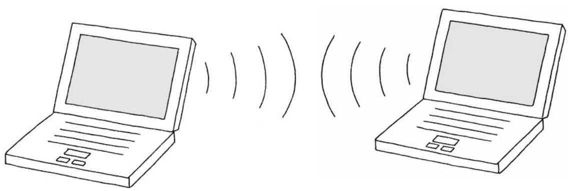
◆ ワイヤレスLAN対応周辺機器（親機）とのワイヤレス接続

本機とワイヤレスLANに対応した別売の周辺機器（親機）を使用すると、ケーブルで接続せずにLANを利用することができます。
例えば、ワイヤレスLANに対応したターミナルアダプタ等を利用してインターネットに接続することができます。



◆ 他のワイヤレスLAN対応パソコンとのワイヤレス通信

本機とワイヤレスLANに対応した他のパソコンを使用すると、ケーブル接続やフロッピーディスクなどの媒体を使用せずに、ファイルのコピーなどを行うことができます。



ワイヤレスLAN機能使用上の注意

・通信速度・通信距離は、ワイヤレスLAN対応機器や電波環境・障害物・設置環境などの周囲条件によって異なります。

・電波の性質上、通信距離が離れるにしたがって通信速度が低下する傾向があります。より快適にお使いいただくために、ワイヤレスLAN対応機器同士は近い距離で使用することをおすすめします。

・電子レンジを使用中に、ワイヤレスLAN対応機器の通信速度、通信距離が低下する場合があります。ワイヤレスLAN対応機器と電子レンジは離して使用することをおすすめします。

・ワイヤレスLAN対応機器とBluetooth™対応機器を同時に使用された場合、それぞれの機器の通信速度や通信距離が低下する場合があります。ワイヤレスLAN対応機器とBluetooth™対応機器はいずれかをオフにするか、離して使用することをおすすめします。

・ワイヤレスLAN機能を使用したネットワークへの接続には、別売の無線LANアクセスポイントやレジデンシャルゲートウェイなどが必要です。

・Bluetooth™とワイヤレスLANの両方が内蔵されているモデルの場合で、Bluetooth™とワイヤレスLANを同時に使用すると、それぞれの機器の通信速度、通信距離が低下する場合があります。その場合は、どちらかの機能をオフにしてください。
ワイヤレスLAN機能のみオフにする場合は、Windows XPの場合は、「ワイヤレスネットワーク接続の状態」ウィンドウで「無効にする」ボタンをクリックしてください(→p.16)。Windows Me/Windows 98/Windows 2000の場合は、「ORiNOCO　クライアントマネージャ」ウィンドウで「ファイル」メニューの「無線の無効化」をクリックしてください(→p.16)。Bluetooth™機能のみをオフにする場合の手順については、添付のマニュアル『Bluetooth™について』をご覧ください。

ワイヤレスLAN製品との接続

本製品と接続できる製品は、以下の通りです(2001年9月現在)。

■ レジデンシャルゲートウェイ(→p.39)

・PK-WL002H　無線LANアクセスポイント(11Mbps)

■ 無線LANアクセスポイント(→p.44)

・PK-WL003　無線LANアクセスポイントN
・PK-WL005　無線LANアクセスポイントE

・PK-WL007　無線LANアクセスポイントS
・PC-WL20R1　Aterm　WL20R
・PC-WB20R1　Aterm　WB20R
・PC-WL30A1　Aterm　WL30A
・PC-WL50T1　Aterm　WL50T
・PC-WB50T1　Aterm　WB50T
・PA-WB55TL1　Aterm　WB55TL
・PA-WB45RL1　Aterm　WB45RL
・PA-WB65DSL1　Aterm　WB65DSL

■ ワイヤレスLAN周辺機器（→p.51）

・PK-WL001H　無線LANカード（11Mbps）
・PK-WL001　無線LANカード（11Mbps）
・PK-WL004　無線LAN　USBボックス（11Mbps）
・PK-WL006　無線LAN（11Mbps）カードE
・PR-WL-11　無線LANプリンタボード
・PR-WL-01　無線LANプリンタアダプタ

■ ワイヤレスLANモデル

・2001年7月出荷のLaVie T、LaVie C、LaVie Gのワイヤレス LANモデル
・2001年8月出荷のVersaPro オールインワンノート、モバイルノート（ベイ内蔵型）のワイヤレスLAN（無線LAN）モデル
・2001年10月、11月出荷のLaVie、VersaProのワイヤレスLAN（無線LAN）モデル

その他の製品については、NECのホームページ「121ware.com（ワントゥワンウェアドットコム）」をご覧ください。

http://121ware.com/

ワイヤレスLAN機能のオン／オフ

ワイヤレスLAN機能のオン／オフには、以下の4種類があります。

- **「ワイヤレスネットワーク接続状態」ウィンドウでオン／オフを切り替える（Windows XPの場合）**
  ワイヤレスLAN機能のみのオン／オフを行います。

- **「ORiNOCO Client Manager」でオン／オフを切り替える（Windows Me/Windows 98/Windows 2000の場合）**
  ワイヤレスLAN機能のみのオン／オフを行います。

- **キーボードで切り替える**
  ワイヤレスLAN機能、Bluetooth™機能を含むワイヤレス通信機能全体のオン／オフを行います。

- **BIOSセットアップメニューでオン／オフを切り替える**
  ワイヤレスLAN機能、Bluetooth™機能を含むワイヤレス通信機能全体のオン／オフを行います。

ワイヤレス通信機能のオン／オフの状態はパソコン本体のワイヤレスランプ（）で確認することができます。

参照 **ワイヤレスランプの位置について→『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「各部の名称」または『本製品をお買い求めのお客様へ』**

ワイヤレスランプ（）

ランプ	状態
点灯	ワイヤレス通信機能オン
消灯	ワイヤレス通信機能オフ

【Fn】+【F2】およびBIOSセットアップメニューで設定したオン／オフ状態は、電源を切った後も保存されています。

チェック!!
- **他の機器に影響をあたえる場合やワイヤレス通信機能を使用しない場合は、ワイヤレス通信機能をオフにすることをおすすめします。**
- **ワイヤレスLAN機能のみのオン・オフではランプでの確認ができません。**

◎「ワイヤレスネットワーク接続の状態」ウィンドウで切り替える（Windows XPの場合）

以下の手順でワイヤレスLAN機能のみのオン／オフができます。

◆ オフにする場合

「ワイヤレスネットワーク接続の状態」ウィンドウで「無効にする」ボタンをクリックすると、ワイヤレスLAN機能がオフになります。

◆ オンにする場合

1. **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリックする**
   「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。

2. **「ワイヤレスネットワーク接続」アイコンをダブルクリックする**

◎「ORiNOCO　クライアントマネージャ」で切り替える（Windows Me/Windows 98/Windows 2000の場合）

「ORiNOCO　クライアントマネージャ」ウィンドウで「ファイル」メニューの「無線の無効化」（または「無線の有効化」）をクリックすると、ワイヤレスLAN機能のオン／オフができます。

◎ キーボードで切り替える

【Fn】押しながら【F2】を1回押すごとにオン／オフが切り替わります。

◎ BIOSセットアップメニューで切り替える

ワイヤレス通信機能のオン／オフはBIOSセットアップメニューでも設定できます。

1. **BIOSセットアップメニューを起動する**

参照 BIOSセットアップメニューを起動する→『活用ガイド　ハードウェア編』PART3の「BIOSセットアップメニュー」

2 **「詳細(Advanced)」メニューの「ワイヤレスデバイス(Wireless Device)」を「使用する(Enabled)」または「使用しない(Disabled)」に設定する**

3 **【F10】を押す**

「セットアップ確認」と表示されます。

4 **「はい」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す**

Windowsが再起動します。

PART

2

ワイヤレスLANを使う（Windows XPの場合）

Windows XPでワイヤレスLANを使う方法について説明しています。
Windows XPでは、OS標準のユーティリティを使い、ワイヤレスLANの設定を行います。
Windows Me/Windows 98/Windows 2000をお使いの場合は、PART3をご覧ください。

ワイヤレスLANの設定を行う

以下の操作を行う前に、Windowsのセットアップを終了している必要があります。
Windowsのセットアップについては、『はじめにお読みください』をご覧ください。

1 ワイヤレスランプ( )が点灯していることを確認する

点灯していない場合は、【Fn】+【F2】を1回押してランプを点灯させてください(→p.16)。

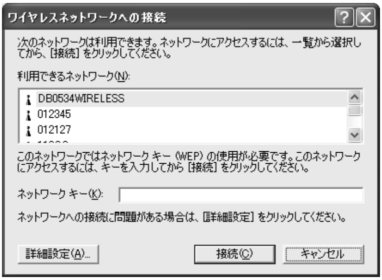
2 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリックする

「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。



3 「ワイヤレスネットワーク接続(ORiNOCO Wireless LAN PC Card...)」をダブルクリックする

「ワイヤレスネットワークへの接続」ウィンドウが表示されます。



4 「詳細設定」ボタンをクリックする

「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

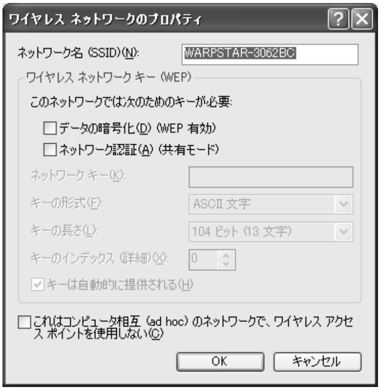
5 「ワイヤレスネットワーク」タブをクリックする



チェック!! **アクセスポイントが利用できるネットワークの一覧に表示されない場合は、一度アクセスポイントの電源をオフにし、再度電源をオンにしてから「最新の情報に更新」ボタンをクリックしてください。**

6 「利用できるネットワーク」から接続する親機（またはパソコン）を選択し、「構成」ボタンをクリックする

「ワイヤレスネットワークのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



7 セキュリティの設定を行う

セキュリティの設定を行うことで、無線ネットワークの外部からの不正なアクセスを防止することができます。
セキュリティの設定を行わない場合は、このあと、手順8に進んでください。
セキュリティの設定を行う場合、親機で暗号キーが設定されている場合は、「ネットワークキー」に暗号キーを入力してください。
また、パソコン同士で接続する場合は、両方のパソコンで同じネットワークキーを設定してください。

8 パソコン同士で接続する場合は、「これはコンピュータ相互（ad hoc）のネットワークで、ワイヤレスアクセスポイントを使用しない」の□をクリックして☑にする

レジデンシャルゲートウェイ、無線LANアクセスポイントとの接続の際はこの手順は必要ありません。

9 「OK」ボタンをクリックする

「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウの「優先するネットワーク」に選択した機器が追加されます。



10 「OK」ボタンをクリックする

しばらくすると、画面右下の通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続に接続しました」と表示されます。



◎ 接続の確認

画面右下の通知領域にあるをダブルクリックすると、「ワイヤレスネットワーク接続の状態」ウィンドウの「シグナルの強さ」でアンテナ強度を確認できます。



また、接続している親機（相手のパソコン）は、「ワイヤレスネットワーク接続の状態」ウィンドウの「プロパティ」ボタンをクリックして表示される「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウの「優先するネットワーク」ので確認できます。



◎ ワイヤレスLAN機能を停止する

一時的にワイヤレスLAN機能のみを使用しないようにするには、「ワイヤレスネットワーク接続の状態」ウィンドウで「無効にする」ボタンをクリックしてください（→p.16）。

◎ ワイヤレスLANの設定について

具体的なユーティリティの使用方法などは、Windowsのヘルプ(ヘルプとサポートセンター)をご覧ください。

WARPSTAR(ベース)を使ってダイヤルアップ接続する

別売のダイヤルアップ機能を内蔵したWARPSTAR(ベース)を使用してインターネットへダイヤルアップ接続するには、WARPSTAR(ベース)に添付されているCD-ROMから「WARPSTARらくらくアシスタント」をインストールする必要があります。設定は以下の手順で行ってください。

1 ワイヤレスランプ(•ᯤ)が点灯していることを確認する

点灯していない場合は、【Fn】+【F2】を1回押してランプを点灯させてください(→p.16)。

2 WARPSTAR(ベース)に合わせて、ワイヤレスLANの設定を行う(→p.20)

チェック!!

- **一覧を更新してもWARPSTAR(ベース)のネットワーク名が表示されない場合は、一度WARPSTAR(ベース)の電源をオフにし再びオンにした後で、WARPSTAR(ベース)前面ランプの点滅が終わるのを待ってから、再度「更新」ボタンをクリックしてください。**
- **WARPSTAR(ベース)の出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXXX」(XXXXXXはWARPSTAR(ベース)の背面に記載されている10BASE-TもしくはWAN/PCのMACアドレス下6桁)です。**

3 WARPSTAR(ベース)との接続を確認する(→p.24)

4 WARPSTAR(ベース)に添付されているCD-ROMから「WARPSTARらくらくアシスタント」をインストールする

インストール方法は、WARPSTAR(ベース)の取扱説明書の「WARPSTARベースの100BASE-TX/10BASE-Tポートにパソコンを接続する場合」にしたがって行ってください(ただし、Ethernetケーブルを接続する必要はありません)。

らくらくアシスタントと同時にインストールされる「サテライトマネージャ」は、WARPSTARサテライト(WL11U)／(WL11C)専用ですので、内蔵のワイヤレスLANではご使用になれません。

5 WARPSTAR導入ウィザードで設定を行う

「WARPSTARらくらくアシスタント」のインストール後、WARPSTAR導入ウィザードが起動します。
以下の点に注意し、ウィザードにしたがって設定を行ってください。

- 「お使いのパソコンとWARPSTARの接続方法」では、「Ethernetケーブルで接続」もしくは、「100BASE-TX/10BASE-Tケーブルで接続」を選択してください。「ワイヤレスLAN(カード)」や「ワイヤレスLAN(USBボックス)」は、WARPSTARサテライト(WL11U)/(WL11C)専用です。
- 「WARPSTAR(ベース)を接続しているLANカード／アダプタの選択」では、「ORiNOCO miniPCI Card」を選択してください。

6 インターネットの接続設定を行う

WARPSTAR(ベース)の取扱説明書の「インターネットの接続設定をする」にしたがってください。

7 インターネットに接続する

WARPSTAR(ベース)の取扱説明書の「インターネットに接続する」にしたがってください。

WARPSTARシリーズに関する最新情報は、AtermStationをご覧ください。
http://aterm.cplaza.ne.jp/ (2001年9月現在)

PART

3

ワイヤレスLANを使う (Windows Me/Windows 98/Windows 2000の場合)

Windows Me/Windows 98/Windows 2000でワイヤレスLANを使う方法について説明しています。
Windows Me/Windows 98/Windows 2000でワイヤレスLANを使うには、ドライバとユーティリティのインストールが必要です。
Windows XPをお使いの場合は、PART2をご覧ください。

ドライバのインストール

ワイヤレスLAN機能を使うにはドライバのインストールが必要です。
インストール方法はOSごとに異なりますので、ご使用のOSの手順をご覧ください。

チェック!!

- **以下の操作を行う前に、Windowsのセットアップが終了している必要があります。Windowsのセットアップについては、『はじめにお読みください』をご覧ください。**
- **一度ドライバのインストールを行えば、次回以降ワイヤレスLAN機能を使うときにこの操作は必要ありません。**
- **アプリケーションのインストール状態によっては、ドライバのインストール中に数分間操作待ちが必要な場合があります。ドライバのインストールは、アプリケーションが常駐していない状態にしてから行うことをおすすめします。**
- **ここでは、CD-ROMドライブを使用した場合の説明が記載されています。CD-ROMドライブ以外のドライブをお使いの方は、「CD-ROMドライブ」をご使用のドライブに読み替えてください。**

Windows Me/Windows 98の場合のインストール方法

1 本機を起動する

「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。
デバイス名が「Lucent Technologies-WaveLAN/IEEE」であることを確認してください。



チェック!!

- **デバイス名が「NEC Firewarden OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」または「Texas Instruments PCI-1410 CardBus Controller」の場合は、「次へ」ボタンをクリックしてデバイスをインストールしてください。**
- **ここで「Lucent Technologies-WaveLAN/IEEE」、「NEC Firewarden OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」、「Texas Instruments PCI-1410 CardBus Controller」以外のハードウェアが見つかった場合は、いったん「キャンセル」ボタンをクリックしてください。**
- **「Lucent Technologies-WaveLAN/IEEE」と表示されたときに間違えて「キャンセル」ボタンをクリックしてしまった場合は、もう一度Windowsを再起動してください。**

2 ワイヤレスランプ( )が点灯していることを確認する

点灯していない場合は、【Fn】+【F2】を1回押してランプを点灯させてください(→p.16)。

3 添付のワイヤレスLAN(無線LAN)CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

4 以下の手順を行う

- Windows Meの場合
  「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」の◯をクリックして◉にし、「次へ」ボタンをクリックする
- Windows 98の場合
  「次へ」ボタンをクリックし、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」の◯をクリックして◉にし、「次へ」ボタンをクリックする

5 「検索場所の指定」の□をクリックして☑にし、次のように入力する

- Windows Meの場合
  ＜CD-ROMドライブのドライブ名＞：￥WINDOWSME
- Windows 98の場合
  ＜CD-ROMドライブのドライブ名＞：￥WINDOWS98

チェック!! リムーバルメディアまたはCD-ROMが☑になっている場合は、必ず☑をクリックして□にしてください。

6 「次へ」ボタンをクリックする

7 「次へ」ボタンをクリックする

「Add/Edit Configuration Profile」ウィンドウが表示されます。

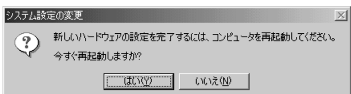
8 「Add/Edit Configuration Profile」ウィンドウで、「OK」ボタンをクリックする

新しいハードウェアのインストール完了のウィンドウが表示されます。



9 「完了」ボタンをクリックする

「システム設定の変更」ウィンドウが表示されます。



10 「はい」ボタンをクリックする

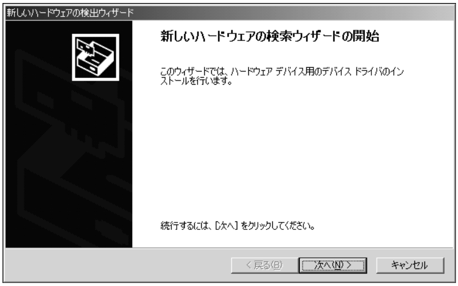
Windowsが再起動します。

これでドライバのインストールは完了です。続けて「インストールの確認」(→p.33)に進んでください。

Windows 2000の場合のインストール方法

1 本機を起動する

「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウが表示されます。



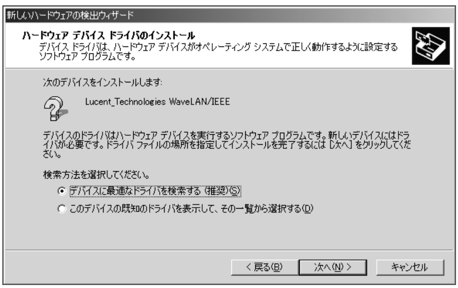
2 ワイヤレスランプ（）が点灯していることを確認する

点灯していない場合は、【Fn】+【F2】を1回押してランプを点灯させてください（→p.16）。

3 添付のワイヤレスLAN（無線LAN）CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

4 「次へ」ボタンをクリックする

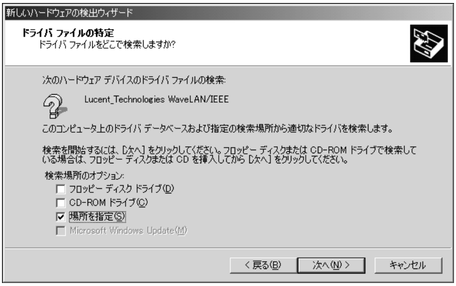
「ハードウェアデバイスドライバのインストール」と表示されます。
デバイス名が「Lucent_Technologies WaveLAN/IEEE」であることを確認してください。



チェック!!
- **ここで「Lucent_Technologies WaveLAN/IEEE」以外のデバイスが表示された場合はいったん「キャンセル」ボタンをクリックしてください。**
- **「Lucent_Technologies WaveLAN/IEEE」と表示されたときに間違えて「キャンセル」ボタンをクリックしてしまった場合は、もう一度Windowsを再起動させてください。**

5 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」の◯をクリックして◉にし、「次へ」ボタンをクリックする

「ドライバファイルの特定」と表示されます。



チェック!! **「CD-ROMドライブ」が☑になっている場合は、必ず☑をクリックして☐にしてください。**

6 「場所を指定」の☐をクリックして☑にし、「次へ」ボタンをクリックする

「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウが表示されます。

7 次のように入力する

＜CD-ROMドライブのドライブ名＞：¥WINDOWS2000¥miniPCI

8 「OK」ボタンをクリックする

「ドライバファイルの検索」が表示されます。

9 「次へ」ボタンをクリックする

チェック!! **「デジタル署名が見つかりませんでした」ウィンドウが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。**

10 「Add/Edit Configuration Profile」ウィンドウで「OK」ボタンをクリックする

「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。

11 「完了」ボタンをクリックする

12 Windowsを再起動する

これでドライバのインストールは完了です。続けて次の「インストールの確認」に進んでください。

インストールの確認

ドライバが正常にインストールされたかどうか、次の手順で確認してください。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする

2 「システム」アイコンをダブルクリックする

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

3 以下の操作を行う

- Windows Me/Windows 98の場合
  「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- Windows 2000の場合
  「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする

4 「ネットワークアダプタ」の左の[+]をクリックし、「ORiNOCO Mini PCI Card」が正常に追加されていることを確認する



チェック!!

- 「ORiNOCO Mini PCI Card」の左側に ! や ✕ が表示されている場合は、ドライバのインストールが正常に完了していません。
  このような場合は、「ORiNOCO Mini PCI Card」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。「ドライバ」タブをクリックして「ドライバの更新」ボタンをクリックしてください。その後「ドライバのインストール」の手順にしたがって、ドライバをインストールしてください。
- ワイヤレスLANドライバのインストール後は、インジケータ領域（タスクトレイ）の をダブルクリックすると「ORiNOCO Mini PCI Card」が表示されますが、削除（停止）するとワイヤレスLAN機能が停止してしまいます。
  万が一ワイヤレスLAN機能を停止させた場合は、以下の操作を行うことで、再度使用できるようになります。

■ Windows Me/Windows 98の場合

「システムのプロパティ」ウィンドウの「デバイスマネージャ」タブで「更新」ボタンをクリックする

■ Windows 2000の場合

「デバイスマネージャ」ウィンドウで「操作」メニュー→「ハードウェア変更のスキャン」をクリックする

ユーティリティのインストール

ドライバのインストールが完了したら、次に以下の手順でユーティリティ(ORiNOCO　クライアントマネージャ)をインストールしてください。

チェック!!

- **一度ユーティリティのインストールを行えば、次回以降ワイヤレスLAN機能を使うときにこの操作は必要ありません。**
- **ここでは、CD-ROMドライブを使用した場合の説明が記載されています。CD-ROMドライブ以外のドライブをお使いの方は、「CD-ROMドライブ」をご使用のドライブに読み替えてください。**

1 **添付のワイヤレスLAN(無線LAN)CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする**

2 **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする**

3 **「名前」欄に次のように入力する**

＜CD-ROMドライブのドライブ名＞:¥CL_MGR¥SETUP.EXE

4 **「OK」ボタンをクリックする**

「Client Manager Setup」ウィンドウが表示されます。



5 「次へ」ボタンをクリックする

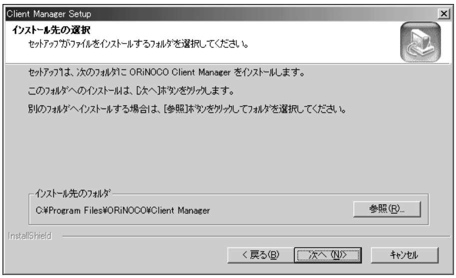
「使用許諾契約」と表示されます。



使用許諾契約の日本語での内容については、ワイヤレスLAN(無線LAN)CD-ROMの以下のファイルをご覧ください。
＜CD-ROMドライブのドライブ名＞:¥CL_MGR¥LICENSEJ.txt

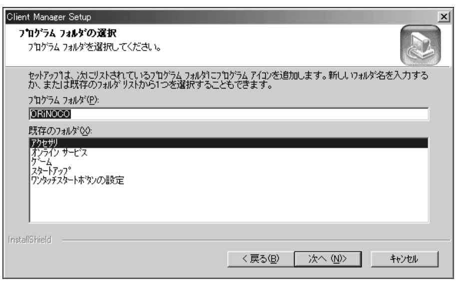
6 契約に同意のうえ、「はい」ボタンをクリックする

「インストール先の選択」と表示されます。



7 「次へ」ボタンをクリックする

「プログラム フォルダの選択」と表示されます。



8 「次へ」ボタンをクリックする

「Select the Client Manager you want to install.」と表示されます。



9 「Client Manager Japanese」の□をクリックして☑にし、「次へ」ボタンをクリックする

しばらくすると「InstallShield ウィザードの完了」と表示されます。



10 「完了」ボタンをクリックする

これでユーティリティのセットアップは完了です。

> ORiNOCO Client Managerの削除(アンインストール)の方法については、付録の「「ORiNOCO　クライアントマネージャ」の削除(アンインストール)」(→p.78)をご覧ください。

ORiNOCO　クライアントマネージャ

ORiNOCO　クライアントマネージャは、ワイヤレスLANの各種設定を行ったり、ワイヤレスLAN環境の信号品質を監視することができるプログラムです。

参照　**ORiNOCO　クライアントマネージャで確認できる項目→PART4「ORiNOCO　クライアントマネージャ」(p.63)**

ORiNOCO　クライアントマネージャを起動する

1 **「スタート」ボタン→「プログラム」→「ORiNOCO」→「Client Manager」をクリックする**

また、インジケータ領域(タスクトレイ)にがある場合はダブルクリックしてORiNOCO　クライアントマネージャを起動することもできます。

ORiNOCO　クライアントマネージャの設定をする

接続相手によって設定が異なります。
それぞれのページを参照してください。

- **別売のレジデンシャルゲートウェイ(→p.13)の場合**
  →「レジデンシャルゲートウェイとの接続設定」(→p.39)
- **別売の無線LANアクセスポイント(→p.13)の場合**
  →「無線LANアクセスポイントとの接続設定」(→p.44)
- **ワイヤレスLAN周辺機器、ワイヤレスLANモデル(→p.14)の場合**
  →「ワイヤレスLAN機能のある機器との接続設定」(→p.51)

ORiNOCO　クライアントマネージャを終了する

1 **「ORiNOCO　クライアントマネージャ」ウィンドウが表示されている場合は画面右上のをクリックして終了する**

2 **インジケータ領域(タスクトレイ)のを右クリックして、「終了」をクリックする**

レジデンシャルゲートウェイとの接続設定

本機のワイヤレスLAN機能を使って他のネットワークに接続するためには、別売のレジデンシャルゲートウェイ(無線LANアクセスポイント(11Mbps)(PK-WL002H))が必要です。
ここでは、レジデンシャルゲートウェイを使用する場合の設定について説明しています。

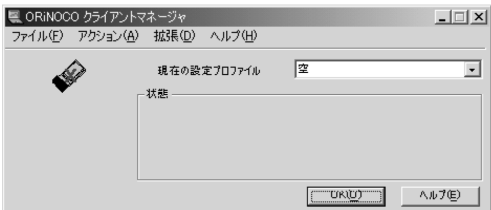
参照 **レジデンシャルゲートウェイについて→レジデンシャルゲートウェイのマニュアル**

1 ワイヤレスランプ( )が点灯していることを確認する

点灯していない場合は、【Fn】+【F2】を1回押してランプを点灯させてください(→p.16)。

2 インジケータ領域(タスクトレイ)の をダブルクリックする

インジケータ領域(タスクトレイ)に が表示されていない場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「ORiNOCO」→「Client Manager」をクリックしてください。
「ORiNOCO　クライアントマネージャ」ウィンドウが表示されます。



チェック!! **初回起動時にインジケータ領域(タスクトレイ)のアイコンは になっており、自動的に「設定プロファイルの追加/編集」ウィンドウが表示されますので、手順4に進んでください。**

3 「アクション」メニュー→「設定プロファイルの追加/編集」をクリックする

「設定プロファイルの追加/編集」ウィンドウが表示されます。

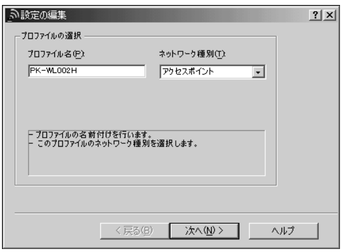


4 「追加」ボタンまたは「編集」ボタンをクリックする

新しくプロファイルを追加する場合は「追加」ボタンをクリックします。すでに作成したプロファイルを変更する場合は「編集」ボタンをクリックしてください。

5 「プロファイル名」にプロファイル名を入力する

ここでは、例として「PK-WL002H」と入力しています。



プロファイル名に特に指定はありません。複数の設定を使いわける場合などに見分けやすい名前にすることをおすすめします。

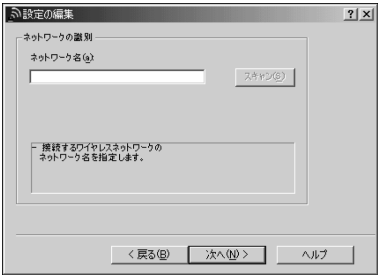
6 ネットワーク種別を「住宅用ゲートウェイ」に設定する



チェック!! **「アクセスポイント」は、無線LANアクセスポイント用の項目です。ここでは、必ず「住宅用ゲートウェイ」を選択してください。**

7 「次へ」ボタンをクリックする

「ネットワークの識別」が表示されます。



8 「ネットワーク名」の入力欄に、レジデンシャルゲートウェイのIDを入力する

レジデンシャルゲートウェイのIDは6桁の英数字です。
詳しくは、レジデンシャルゲートウェイのマニュアルをご覧ください。

チェック!! **大文字/小文字の入力間違いに注意してください。**

9 「次へ」ボタンをクリックする

「セキュリティの設定」が表示されます。

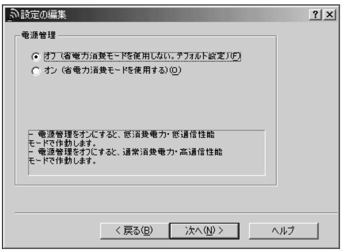


10 「データセキュリティを使用する」の□をクリックして☑にし、「英数字を使用」か「16進数を使用」のどちらかを◉にし、レジデンシャルゲートウェイに記載の暗号キーを入力する

レジデンシャルゲートウェイの暗号キーは5桁です。詳しくはレジデンシャルゲートウェイのマニュアルをご覧ください。

11 「次へ」ボタンをクリックする

「電源管理」が表示されます。



チェック!! **通常は「オフ」を選択してください。「オン」を選択すると、消費電力を抑えるかわりに通信性能が制限されます。**

12 「オフ」が◉になっていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックする

「TCP/IP動作」が表示されます。



チェック!! ここでは、「このプロファイルを選ぶ際にIPアドレスを更新します。」を☑にしないでください。

13 「完了」ボタンをクリックする

「設定プロファイルの追加/編集」ウィンドウが表示されます。

14 「OK」ボタンをクリックする

「ORiNOCO　クライアントマネージャ」ウィンドウのメイン画面が表示されます。

■ 接続の確認

「ORiNOCO　クライアントマネージャ」上でアンテナのアイコンと親機の名前が正しく表示されているかで確認できます(→p.65)。

チェック!! 本機に内蔵のワイヤレスLANが対応しているチャンネルは1〜11chです。レジデンシャルゲートウェイの設定が12〜14chの場合は、1〜11chに変更してください。

続いて「ネットワークの設定」(→p.56)に進んでください。

無線LANアクセスポイントとの接続設定

ここでは、本機のワイヤレスLAN機能と、別売の無線LANアクセスポイント(→p.13)を使って他のネットワークに接続するための設定について説明しています。

参照 **無線LANアクセスポイントについて→無線LANアクセスポイントのマニュアル**

1 ワイヤレスランプ( )が点灯していることを確認する

点灯していない場合は、【Fn】+【F2】を1回押してランプを点灯させてください(→p.16)。

2 インジケータ領域(タスクトレイ)の をダブルクリックする

インジケータ領域(タスクトレイ)に が表示されていない場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「ORiNOCO」→「Client Manager」をクリックしてください。

「ORiNOCO クライアントマネージャ」ウィンドウが表示されます。



チェック!! 初回起動時にインジケータ領域(タスクトレイ)のアイコンは になっており、自動的に「設定プロファイルの追加/編集」ウィンドウが表示されますので、手順4に進んでください。

3 「アクション」メニュー→「設定プロファイルの追加/編集」をクリックする

「設定プロファイルの追加/編集」ウィンドウが表示されます。

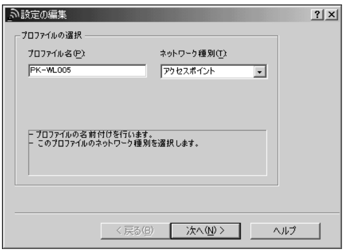


4 「追加」ボタンまたは「編集」ボタンをクリックする

新しくプロファイルを追加する場合は「追加」ボタンをクリックします。すでに作成したプロファイルを変更する場合は「編集」ボタンをクリックしてください。

5 「プロファイル名」にプロファイル名を入力する

ここでは、例として「PK-WL005」と入力しています。



プロファイル名に特に指定はありません。複数の設定を使いわける場合などに見分けやすい名前にすることをおすすめします。

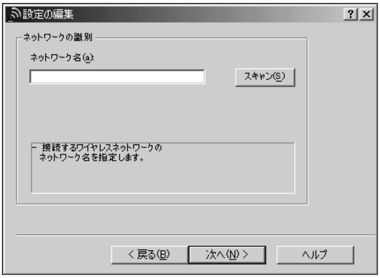
6 ネットワーク種別を「アクセスポイント」に設定する



チェック!! **「住宅用ゲートウェイ」はレジデンシャルゲートウェイ(PK-WL002H)用の項目です。ここでは必ず「アクセスポイント」を選択してください。**

7 「次へ」ボタンをクリックする

「ネットワークの識別」が表示されます。



8 「スキャン」ボタンをクリックする

接続可能なネットワークの一覧が表示されます。

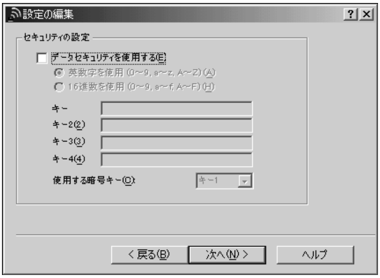
チェック!! **「スキャン」ボタンが無効になっている(クリックできない)場合は、ウィンドウ右上のでウィンドウを閉じて「OK」ボタンをクリックし、「設定プロファイルの追加/編集」ウィンドウを閉じた後に手順3からやり直してください。**

9 接続するネットワークを選択し、「OK」ボタンをクリックする

チェック!! **アクセスポイントが利用できるネットワークの一覧に表示されない場合は、一度アクセスポイントの電源をオフにし、再度電源をオンにしてからもう一度「スキャン」ボタンをクリックしてください。**

10 「次へ」ボタンをクリックする

「セキュリティの設定」が表示されます。

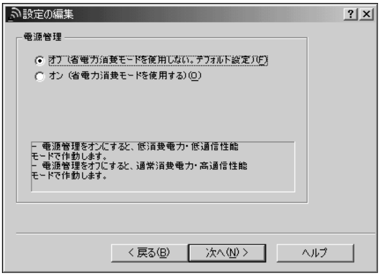


11 セキュリティの設定を行う

・セキュリティの設定を行うことで、無線ネットワークの外部からの不正なアクセスを防止することができます。
・セキュリティの設定を行う場合は、「データセキュリティを使用する」の□をクリックして☑にし、「英数字を使用」か「16進数を使用」のどちらかの◯をクリックして◉にしてから、暗号キー（キー）を入力します。
無線LANアクセスポイント側で暗号キーを設定している場合は、無線LANアクセスポイントと同じ暗号キーを入力します。
・無線LANアクセスポイントが、40ビットの暗号キーをサポートする場合は、英数字で5文字、16進数で10桁までの暗号キーが使用できます。
無線LANアクセスポイントが、104ビットの暗号キーをサポートする場合は、英数字で13文字、16進数で26桁までの暗号キーが使用できます。
・キーは4種類設定ができ、「使用する暗号キー」で選択します。

12 「次へ」ボタンをクリックする

「電源管理」が表示されます。



チェック!! **通常は「オフ」を選択してください。「オン」を選択すると、消費電力を抑えるかわりに通信性能が制限されます。**

13 「オフ」が◉になっていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックする

「TCP/IP動作」が表示されます。



チェック!! **ここでは、「このプロファイルを選ぶ際にIPアドレスを更新します。」を☑にしないでください。**

14 「完了」ボタンをクリックする

「設定プロファイルの追加/編集」ウィンドウが表示されます。

15 「OK」ボタンをクリックする

「ORiNOCO　クライアントマネージャ」ウィンドウのメイン画面が表示されます。

■ **接続の確認**

「ORiNOCO　クライアントマネージャ」上でアンテナのアイコンと親機の名前が正しく表示されているかで確認できます(→p.65)。

チェック!! **本機に内蔵のワイヤレスLANが対応しているチャンネルは1〜11chです。無線LANアクセスポイントの設定が12〜14chの場合は、1〜11chに変更してください。**

続いて「ネットワークの設定」(→p.56)に進んでください。

WARPSTAR(ベース)を使ってダイヤルアップ接続する

別売のダイヤルアップ機能を内蔵したWARPSTAR(ベース)を使用してインターネットへダイヤルアップ接続するには、WARPSTAR(ベース)に添付されているCD-ROMから「WARPSTARらくらくアシスタント」をインストールする必要があります。設定は以下の手順で行ってください。

1. **ワイヤレスランプ(•⁝)が点灯していることを確認する**
   点灯していない場合は、【Fn】+【F2】を1回押してランプを点灯させてください(→p.16)。

2. **WARPSTAR(ベース)に合わせて、ワイヤレスLANの設定を行う(→p.44)**

チェック!!
- **「スキャン」ボタンをクリックしてもWARPSTAR(ベース)のネットワーク名が表示されない場合は、一度WARPSTAR(ベース)の電源をオフにし再びオンにした後で、WARPSTAR(ベース)前面ランプの点滅が終わるのを待ってから、再度「スキャン」ボタンをクリックしてください。**
- **WARPSTAR(ベース)の出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXXX」(XXXXXXはWARPSTAR(ベース)の背面に記載されている10BASE-TもしくはWAN/PCのMACアドレス下6桁)です。**

3. **WARPSTAR(ベース)との接続を確認する(→p.65)**

4 WARPSTAR(ベース)に添付されているCD-ROMから「WARPSTARらくらくアシスタント」をインストールする

インストール方法は、WARPSTAR(ベース)の取扱説明書の「WARPSTARベースの100BASE-TX/10BASE-Tポートにパソコンを接続する場合」にしたがって行ってください(ただし、Ethernetケーブルを接続する必要はありません)。

らくらくアシスタントと同時にインストールされる「サテライトマネージャ」は、WARPSTARサテライト(WL11U)/(WL11C)専用ですので、内蔵のワイヤレスLANではご使用になれません。

5 WARPSTAR導入ウィザードで設定を行う

「WARPSTARらくらくアシスタント」のインストール後、WARPSTAR導入ウィザードが起動します。

以下の点に注意し、ウィザードにしたがって設定を行ってください。

・「お使いのパソコンとWARPSTARの接続方法」では、「Ethernetケーブルで接続」もしくは、「100BASE-TX/10BASE-Tケーブルで接続」を選択してください。「ワイヤレスLAN(カード)」や「ワイヤレスLAN(USBボックス)」は、WARPSTARサテライト(WL11U)/(WL11C)専用です。
・「WARPSTAR(ベース)を接続しているLANカード/アダプタの選択」では、「ORiNOCO miniPCI Card」を選択してください。

6 インターネットの接続設定を行う

WARPSTAR(ベース)の取扱説明書の「インターネットの接続設定をする」にしたがってください。

7 インターネットに接続する

WARPSTAR(ベース)の取扱説明書の「インターネットに接続する」にしたがってください。

WARPSTARシリーズに関する最新情報は、AtermStationをご覧ください。
http://aterm.cplaza.ne.jp/ (2001年9月現在)

ワイヤレスLAN機能のある機器との接続設定

レジデンシャルゲートウェイ、アクセスポイントを使わずに本機のワイヤレスLAN機能を使ってワイヤレスLAN周辺機器(→p.14)や他のワイヤレスLANモデルとネットワーク接続するためには、次の設定が必要です。

1 ワイヤレスランプ( )が点灯していることを確認する

点灯していない場合は、【Fn】+【F2】を1回押してランプを点灯させてください(→p.16)。

2 インジケータ領域(タスクトレイ)の をダブルクリックする

インジケータ領域(タスクトレイ)に が表示されていない場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「ORiNOCO」→「Client Manager」をクリックしてください。

「ORiNOCO　クライアントマネージャ」ウィンドウが表示されます。



チェック!! **初回起動時にインジケータ領域(タスクトレイ)のアイコンは になっており、自動的に「設定プロファイルの追加/編集」ウィンドウが表示されますので、手順4に進んでください。**

3 「アクション」メニュー→「設定プロファイルの追加/編集」をクリックする

「設定プロファイルの追加/編集」ウィンドウが表示されます。

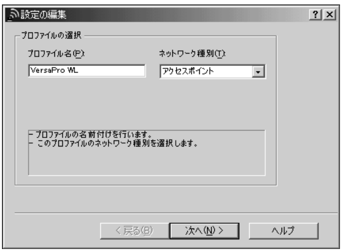


4 「追加」ボタンまたは「編集」ボタンをクリックする

新しくプロファイルを追加する場合は「追加」ボタンをクリックします。すでに作成したプロファイルを変更する場合は「編集」ボタンをクリックしてください。

5 「プロファイル名」にプロファイル名を入力する

ここでは、例として「VersaPro WL」と入力しています。



プロファイル名に特に指定はありません。複数の設定を使いわける場合などに見分けやすい名前にすることをおすすめします。

6 ネットワーク種別を「ピアツーピアグループ」に設定する



7 「次へ」ボタンをクリックする

「ネットワークの識別」が表示されます。



8 「ネットワーク名」の入力欄にネットワーク名を入力する

- ネットワーク名に特に指定はありませんが、接続相手のネットワーク名も同じ設定にする必要があります。
- ネットワーク名は英数字32文字以内にする必要があります。

9 「チャンネル番号」を選択する

相手の機器のチャンネルも、ここで選択したチャンネルに合わせる必要があります。

10 「次へ」ボタンをクリックする

「セキュリティの設定」が表示されます。



11 セキュリティの設定を行う

セキュリティの設定を行うことで、無線ネットワークへの外部からの不正なアクセスを防止することができます。

■ セキュリティの設定を行う場合

「データセキュリティを使用する」の□をクリックして☑にし、「英数字を使用」か「16進数を使用」のどちらかの○をクリックして◉にしてから、英数字で13桁(16進数で26桁)までの暗号キーを入力してください。

> 暗号キーに特に指定はありませんが、接続相手の暗号キーも同じ設定にする必要があります。

■ セキュリティの設定を行わない場合

手順12に進んでください。

12 「次へ」ボタンをクリックする

「TCP/IP動作」が表示されます。



チェック!! **ここでは、「このプロファイルを選ぶ際にIPアドレスを更新します。」を☑にしないでください。**

13 「完了」ボタンをクリックする

「設定プロファイルの追加/編集」ウィンドウが表示されます。

14 「OK」ボタンをクリックする

「ORiNOCO　クライアントマネージャ」ウィンドウのメイン画面が表示されます。

続いて「ネットワークの設定」(→p.56)に進んでください。

■ 接続の確認

「ピアツーピアグループ」モードでは信号の強度はアンテナ表示されません。「ORiNOCO　クライアントマネージャ」の「拡張」メニューから「リンクテスト」を選んで、シグナルレベル(信号強度)を確認してください。

ネットワークの設定

対象の機器との接続準備ができたら、続いてネットワークへの接続の設定を行います。
以下の設定は、ワイヤレスLANネットワークに接続するすべてのパソコンで必要です。

■Windows Me/Windows 98の場合

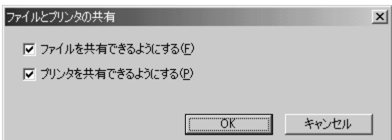
1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする

2 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックする

「ネットワーク」アイコンが表示されない場合は、「コントロールパネル」で「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。

3 「ネットワークの設定」タブで「ファイルとプリンタの共有」ボタンをクリックする

「ファイルとプリンタの共有」ウィンドウが表示されます。



4 「ファイルを共有できるようにする」、「プリンタを共有できるようにする」の□をクリックし☑にする

5 「OK 」ボタンをクリックする

6 「識別情報」タブをクリックし、「コンピュータ名」と「ワークグループ」を入力する

ここでは、「コンピュータ名」に「VersaPro WL1」、「ワークグループ」を「Workgroup WL」としています。



- 「コンピュータ名」は接続されたネットワークのグループ内で識別できるように、他のパソコンとは違う名前にしてください。
- ワークグループ名は、グループ内で共通の名前にしてください。

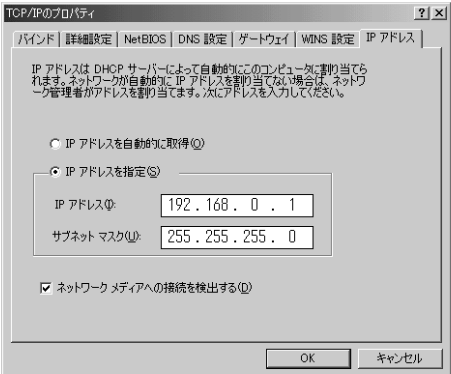
7 「ネットワークの設定」タブで「現在のネットワークコンポーネント」に表示されている「TCP/IP->ORiNOCO Mini PCI Card」をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックする

「TCP/IP のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

チェック!! アクセスポイントやレジデンシャルゲートウェイのDHCPサーバ機能が有効になっている場合は、「IPアドレスを自動的に取得する」を◉にしてください。(WARPSTAR(ベース)のDHCPサーバ機能は出荷時には、有効になっています。)

8 「IP アドレス」タブで「IP アドレスを指定」の◯をクリックして◉にし、「IP アドレス」と「サブネットマスク」を入力する

ここでは例としてIPアドレスに「192.168.0.1」、サブネットマスクに「255.255.255.0」を入力しています。

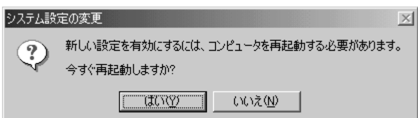


IPアドレスとは、ネットワークを使用するときに必要になるパソコンの識別番号です。ここでの設定はワイヤレスLANを使用してデータのやりとりを行うためのもので、モデムを使用したインターネット接続で設定するIPアドレスとは異なります。そのため、すでに設定したモデムを使用したインターネット接続の設定を書き換えることはありません。
IPアドレス、サブネットマスクに特に番号の指定はありませんが、今回は下記のように設定してください。
・IPアドレス：192.168.0.1
・サブネットマスク：255.255.255.0
もし、接続するネットワークで上記のIPアドレスを使用している場合は、「192.168.0.3」など「192.168.0.＊」（＊は1 ～253）の番号で、使用中のIPアドレスと重ならない番号を設定してください。

9 「OK 」ボタンをクリックする

10 「OK」ボタンをクリックする

「システム設定の変更」ウィンドウが表示されます。



11 「はい」ボタンをクリックする

Windowsが再起動します。

■Windows 2000の場合

1 デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリックする

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「ネットワークID」タブをクリックして、「プロパティ」ボタンをクリックする

「識別の変更」ウィンドウが表示されます。

3 「コンピュータ名」と「ワークグループ」を入力する

ここでは、「コンピュータ名」に「VERSAPRO-WL1」、「ワークグループ」に「WORKGROUP WL」と入力しています。



- 「コンピュータ名」は接続されたネットワークのグループ内で識別できるように、他のパソコンとは違う名前にしてください。
- ワークグループ名は、グループ内で共通の名前にしてください。

4 「OK」ボタンをクリックする

「＊＊＊＊＊へようこそ」ウィンドウ(＊＊＊＊＊は入力したワークグループ名)が表示されます。

5 「OK」ボタンをクリックする

「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください」のウィンドウが表示されます。

6 「OK」ボタンをクリックする

7 「システムのプロパティ」ウィンドウで「OK」ボタンをクリックする

8 「システム設定の変更」ウィンドウが表示されるので「はい」ボタンをクリックする

Windowsが再起動します。

9 デスクトップの「マイネットワーク」アイコンを右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリックする

「ネットワークとダイヤルアップ接続」ウィンドウが表示されます。



10 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックして、表示されるメニューで「プロパティ」をクリックする

「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



複数の「ローカルエリア接続」アイコンが表示されることがあります。
クリックしたときに画面左側に「ORiNOCO Mini PCI Card」と表示されるのがワイヤレスLANの「ローカルエリア接続」アイコンです。

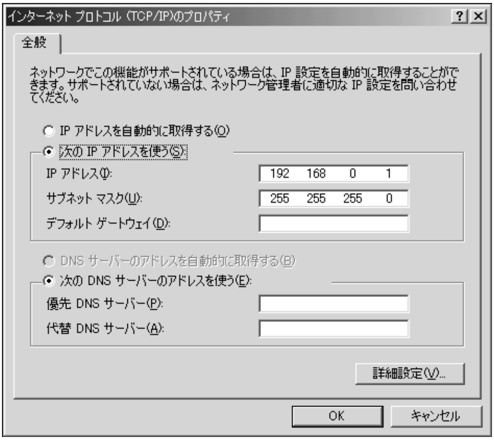
11 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックする

「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

チェック!! **アクセスポイントやレジデンシャルゲートウェイのDHCPサーバ機能が有効になっている場合は、「IPアドレスを自動的に取得する」を◉にしてください。（WARPSTAR（ベース）のDHCPサーバ機能は出荷時には、有効になっています。）**

12 「次のIPアドレスを使う」の○をクリックして⊙にし、「IPアドレス」、「サブネットマスク」を入力する

ここでは例として、IPアドレスに「192.168.0.1」、サブネットマスクに「255.255.255.0」を入力しています。



IPアドレスとは、ネットワークを使用するときに必要になるパソコンの識別番号です。ここでの設定はワイヤレスLANを使用してデータのやりとりを行うためのもので、モデムを使用したインターネット接続で設定するIPアドレスとは異なります。そのため、すでに設定したモデムを使用したインターネット接続の設定を書き換えることはありません。
IPアドレス、サブネットマスクに特に番号の指定はありませんが、今回は下記のように設定してください。

・IPアドレス：192.168.0.1
・サブネットマスク：255.255.255.0

もし、接続するネットワークで上記のIPアドレスを使用している場合は、「192.168.0.3」など「192.168.0.＊」（＊は1 ～253）の番号で、使用中のIPアドレスと重ならない番号を設定してください。

13 「OK」ボタンをクリックする

14 「OK」ボタンをクリックする

15 Windowsを再起動する

PART

4

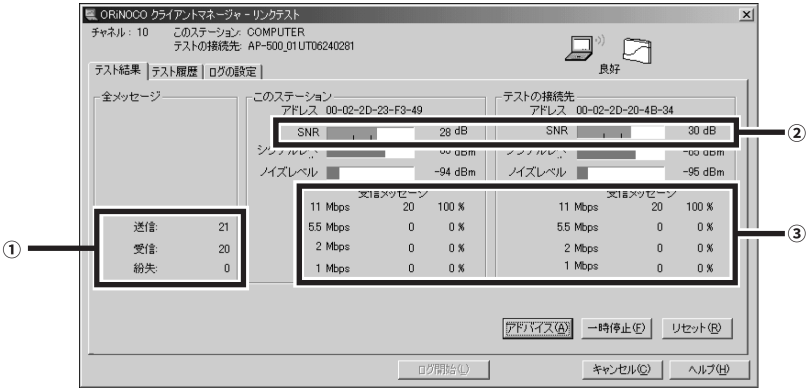
ORiNOCO　クライアントマネージャ

Windows Me/Windows 98/Windows 2000の場合、「ORiNOCO　クライアントマネージャ」で、通信についてのさまざまな情報を確認できます。

ORiNOCO　クライアントマネージャ

電波環境の確認

設置する場所で電波環境測定を行います。
「拡張」メニュー→「リンクテスト」をクリックします。
「テスト結果」タブで次のことを確認できます。



①「全メッセージ」の送信、紛失の数を確認してください。

紛失の数	内容	対処
0	通信に問題はありません。	②と③を確認してください。
1 ～送信の数未満	通信に問題があります。	②と③を確認したうえで対処が必要です。
送信の数	ワイヤレスネットワークが確立していません。	レジデンシャルゲートウェイ、無線LANアクセスポイントが起動しているか確認してください。 ↓ ワイヤレスLAN機能の設定を確認してください。 ↓ 無線通信範囲外です。レジデンシャルゲートウェイ、無線LANアクセスポイントからの距離が遠いためか、またはレジデンシャルゲートウェイ、無線LANアクセスポイントとの間に電波をさえぎる物があることが考えられます。設置場所を移動してください。

②「このステーション」と「テストの接続先」のSNRを確認してください。

SNR	内容	対処
常に20dB以上	電波環境は良好です。	特に無し
常に 20dB～10dB	電波環境は良好ではありませんが、通信には問題ないと思われます。	③を確認したうえで対処するかを決めてください。
常に 10dB～1dB	電波の届くぎりぎりです。一時的に無線ネットワークが切断する可能性があります。	③を確認したうえで対処することをおすすめします。
安定しない、または、安定しないときがある	電子レンジなどの電波障害機器が近くにある可能性があります。	電子レンジが近くにある場合は3メートル以上離して設置してください。

③「このステーション」と「テストの接続先」の受信メッセージを確認してください。

11M bps	5.5M bps	2 M bps	1 M bps	内容	対処
100%	0 %	0 %	0 %	電波環境は良好です。	特に無し。
高%………………低%				電波環境に多少問題があり多少通信速度が低下します。	可能であれば設置場所を変更してください。
低%………………高%				通信速度が著しく低下します。	レジデンシャルゲートウェイ、無線LANアクセスポイントに近いところに移動してください。

接続確認

「ORiNOCO クライアントマネージャ」を使用して、本機がレジデンシャルゲートウェイ、無線LANアクセスポイント、または他のパソコンと接続しているかの確認ができます。

■ レジデンシャルゲートウェイ、無線LANアクセスポイントに接続している場合

インジケータ領域(タスクトレイ)のが次のページのようになっていることを確認してください。

ドライバが正しくインストールされ、正しく設定されている場合のアイコンは下記の1～3のアイコンとなります。
4の場合は設定が正しく行われていないかレジデンシャルゲートウェイ、無線LANアクセスポイントが起動されていない、もしくは無線通信範囲外（レジデンシャルゲートウェイ、無線LANアクセスポイントからの電波が届かない場所）です。レジデンシャルゲートウェイ、無線LANアクセスポイントが動作していることを確認し、再設定のうえ確認を行ってください。
5の場合はドライバのインストールが正しく行われていません。ドライバのインストールまたはドライバの更新を行ってください。

1　（5or4本緑色）：無線環境が良好です。
2　（3本黄色）：設定は正しく行われていますが、無線環境が良好ではありません。
3　（1本赤）：設定は正しく行われていますが、無線の届くぎりぎりです。
4　（1本赤＋稲妻）：設定が正しく行われていないか、無線通信範囲外です。
5　（無色）：ドライバのインストールが正しく行われていません。

チェック!! **Windows 2000モデルで、ドライバのインストールを行っているにもかかわらず、信号強度が（無色）の場合は、PART5の「トラブル解決Q&A」のp.71をご覧ください。**

■ パソコン同士でワイヤレスで接続している場合

アイコンでの確認はできません。「ORiNOCO　クライアントマネージャ」のアイコンは無色です。

「ORiNOCO クライアントマネージャ」の「拡張」メニュー→「リンクテスト」をクリックしてください。レジデンシャルゲートウェイ、無線LANアクセスポイント、または他のパソコンに接続されている場合は「テスト結果」タブでリンクテスト(無線環境測定テスト)が実行されます。「全メッセージ」の受信の数が紛失と同じく増加していく場合は、レジデンシャルゲートウェイ、無線LANアクセスポイント、または他のパソコンに接続していません。無線LANアクセスポイントが動作していることを確認し、再設定のうえ確認を行ってください。



PART

5

トラブル解決Q＆A

トラブルの解決方法をQ&A形式で説明しています。
この他に、NECのホームページ「121ware.com（ワントゥワンウェア　ドットコム）」の「レスキュー」→「Q&Aサーチ」でも、トラブル発生時のサポート情報をご提供しています。

http://121ware.com/

トラブル解決Q＆A

通信ができない場合

次の項目を確認してください。また、「通信がとぎれる場合、または通信速度が遅い場合」（→p.71）もあわせてご覧ください。

◆ ワイヤレスランプ（ ）は点灯していますか？

ワイヤレスランプ（ ）が点灯しているか確認してください。
点灯していない場合はワイヤレスLAN機能がオフになっています。【Fn】を押しながら【F2】を押してワイヤレスLAN機能をオンにしてください（→p.16）。

◆「ORiNOCO クライアントマネージャ」で「無線の無効化」をクリックしませんでしたか？（Windows Me/Windows 98/Windows 2000の場合）

「ファイル」メニュー→「無線の有効化」をクリックしてください。

◆「ワイヤレスネットワーク接続の状態」ウィンドウで「無効にする」をクリックしませんでしたか？（Windows XPの場合）

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリックして表示される「ネットワーク接続」ウィンドウで「ワイヤレスネットワーク接続」アイコンをダブルクリックしてください。

◆ 接続したい機器の電源は入っていますか？

それぞれの機器のマニュアルをご覧になり、電源を確認してください。

◆ ネットワーク名の設定は正しいですか？

レジデンシャルゲートウェイや無線LANアクセスポイントと接続する場合は、レジデンシャルゲートウェイまたは無線LANアクセスポイントのIDをネットワーク名に設定してください。

◆ 暗号キー（キー、ネットワークキー）を使っている場合、暗号キー（キー、ネットワークキー）の設定は正しいですか？

レジデンシャルゲートウェイ、無線LANアクセスポイントや接続先のパソコンには、すべて同じ暗号キー（キー、ネットワークキー）を設定してください。

◆ **使用するチャンネルは正しく設定されていますか?**

本機が対応しているチャンネルは1〜11chです。レジデンシャルゲートウェイ、無線LANアクセスポイントのチャンネルと本機が使用するチャンネルが同じになるように設定してください。

◆ **システムのコンポーネントを変更／追加しましたか?**
(Windows 2000モデルの場合)

Windows 2000モデルでは、OSの制限により、ワイヤレスLANを使用するための修正モジュールが適用されており、システムのコンポーネントを変更または追加した場合は、本修正モジュールをあらためて適用する必要があります。ドライバのインストールが正常に行われているにもかかわらず、信号強度表示が無色の場合は、下記の修正モジュールを実行してください。

C:¥WIN2K¥HOTFIX¥Q296872_W2K_sp3_x86_ja.exe

◆ **環境設定は正しく設定されていますか?**

設定を確認し、必要に応じてもう一度設定してください。

◆ **接続したいワイヤレスLAN対応機器は正しく設定されていますか?**

ワイヤレスLAN対応機器の設定を確認し、必要に応じて設定を変更してください。

参照 **ワイヤレスLAN対応機器の設定→ワイヤレスLAN対応機器のマニュアル**

通信がとぎれる場合、または通信速度が遅い場合

◆ **接続したいワイヤレスLAN対応機器との距離は遠すぎませんか?**

Windows Me/Windows 98/Windows 2000では「ORiNOCO クライアントマネージャ」(→p.64〜67)、Windows XPでは「ネットワーク接続の状態」ウィンドウ(→p.24)を参照して、電波環境を確認してください。電波環境が悪い場合は、ワイヤレスLAN対応機器までの距離を近づけてみてください。ワイヤレスLAN対応機器間の距離は、機器の仕様により異なります。

◆ **電子レンジを使用していませんか?**

周囲で電子レンジを使用していると、ワイヤレスLAN対応機器の通信速度、通信距離が低下する場合があります。ワイヤレスLAN対応機器と電子レンジは離して使用することをおすすめします。

◆ Bluetooth™など、周囲で同じ周波数帯を使用する機器を使っていませんか?

ワイヤレスLAN対応機器とBluetooth™対応機器を同時に使用された場合、それぞれの機器の通信速度や通信距離が低下する場合があります。ワイヤレスLAN対応機器とBluetooth™対応機器のいずれか一方をオフにするか離して使用することをおすすめします。

◆ Bluetooth™とワイヤレスLANを同時に使用していませんか?

Bluetooth™とワイヤレスLANの両方が内蔵されているモデルの場合で、Bluetooth™とワイヤレスLANを同時に使用すると、それぞれの機器の通信速度・通信距離が低下する場合があります。その場合は、どちらかの機能をオフにしてください。
ワイヤレスLAN機能のみをオフにする場合は、Windows XPの場合は、「ワイヤレスネットワーク接続の状態」ウィンドウで「無効にする」ボタンをクリックしてください(→p.16)。Windows Me/Windows 98/Windows 2000の場合は、「ORiNOCO クライアントマネージャ」ウィンドウで「ファイル」メニューの「無線の無効化」(→p.16)をクリックしてください。Bluetooth™機能のみをオフにする場合の手順については、添付のマニュアル『Bluetooth™について』をご覧ください。

◆ 複数のパソコンでネットワーク接続していませんか?(Windows Me/Windows 98/Windows 2000の場合)

ワイヤレスLAN機能で接続するパソコンの台数が増えると、1台あたりの転送速度が低下する場合があります。

「ネットワークコンピュータ」で相手のパソコンが表示されない場合

◆ コンピュータ名は正しく設定されていますか?

接続されているパソコン内に同一のコンピュータ名が使用されている可能性があります。他のパソコンの名前とは異なるコンピュータ名を設定してください。

◆ 相手のパソコンに「Microsoftネットワーク共有サービス」が組み込まれていますか?

相手のパソコンに「Microsoftネットワーク共有サービス」が組み込まれていないと、「ネットワークコンピュータ」で相手のパソコンは表示されません。相手のパソコンに「Microsoftネットワーク共有サービス」を組み込んでください。

◆ワイヤレスLANのモード設定が正しく設定されていますか?（Windows Me/Windows 98/Windows 2000の場合）

レジデンシャルゲートウェイ(PK-WL002H)を接続先として使用する場合は、「住宅用ゲートウェイ」に設定してください。

無線LANアクセスポイントを接続先として使用する場合は、「アクセスポイント」に設定してください。

他のワイヤレスLANモデルを接続先として使用する場合は、「ピアツーピアグループ」に設定してください。

◆ネットワークに接続されていますか?

Windows起動時には、表示されるユーザー名とパスワード入力の画面で、必ず必要な情報を入力して起動してください。

◆TCP/IPは組み込まれていますか?

TCP/IPが組み込まれているかを確認してください。

また、接続するネットワークに合わせてIPアドレスを正しく設定してください。

◆周囲の電波状況は適切な状態ですか?

接続する相手との距離を短くしたり、本機と相手との間の障害物を無くしてから再度接続してください。

◆相手のパソコンが起動した直後ではありませんか?

起動後、数分たってから確認してください。

「ネットワークコンピュータ」上の相手パソコンのアイコンをダブルクリックしても内容が表示されない場合

◆相手パソコンに共有しているフォルダやプリンタ等は存在していますか?

相手パソコン上で共有化したいフォルダやプリンタを「共有する」に設定してください。

「ORiNOCO　クライアントマネージャ」が日本語以外で表示された場合（Windows Me/Windows 98/Windows 2000の場合）

◆日本語で正しくインストールされていますか?

「ORiNOCO　クライアントマネージャ」インストール時の言語選択で日本語を選択していないと、日本語表示されません。

以下の手順で変更できます。

チェック!! **ここでは、CD-ROMドライブを使用した場合の説明が記載されています。CD-ROMドライブ以外のドライブをお使いの方は、「CD-ROMドライブ」をご使用のドライブに読み替えてください。**

・Windows Me/Windows 98の場合

1. **添付のワイヤレスLAN(無線LAN)CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする**
2. **「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする**
3. **「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする**
4. **「インストールと削除」タブで「ORiNOCO Client Manager」をクリックする**
5. **「削除と追加」ボタンをクリックする**
   「Client Manager Setup」ウィンドウが表示されます。
6. **「修正」の◯が◉になっていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする**
   「Select the Client Manager you want to install.」ウィンドウが表示されます。
7. **「Client Manager Japanese」の☐をクリックして☑にし、「次へ」ボタンをクリックする**

・ **Windows 2000の場合**

1 **添付のワイヤレスLAN(無線LAN)CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする**

2 **「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする**

3 **「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする**

4 **「プログラムの変更と削除」で「ORiNOCO Client Manager」をクリックする**

5 **「変更/削除」ボタンをクリックする**

「Client Manager Setup」ウィンドウが表示されます。

6 **「修正」の◯が◉になっていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする**

「Select the Client Manager you want to install.」ウィンドウが表示されます。

7 **「Client Manager Japanese」の□をクリックして☑にし、「次へ」ボタンをクリックする**

「コントロールパネルのアプレットを開く際にエラー発生・・・・」と表示された場合（Windows Me/Windows 98/Windows 2000の場合）

◆ **「ORiNOCO　クライアントマネージャ」が起動中に、「スタート」ボタン→「プログラム」→「ORiNOCO」→「Wireless Network Settings」を起動しませんでしたか?**

「ORiNOCO　クライアントマネージャ」使用中は、「Wireless Network Settings」は使用できません。「ORiNOCO クライアントマネージャ」を終了させるか、「ORiNOCO　クライアントマネージャ」で「アクション」メニューの「設定プロファイルの追加/編集」から設定してください。

接続しているアクセスポイント(WARPSTAR(ベース)を含む)がいつの間にか切断された

周囲に複数のアクセスポイントが存在する場合、アクセスポイントの設定によっては電波の状況に応じて自動的に他のアクセスポイントに接続が切り替わることがあります。

◆ 他のアクセスポイントで同じネットワーク名を使用していませんか?

同じネットワーク名を使用している場合、ネットワーク名を変更してください。

◆ WARPSTAR(ベース)の設定を確認してください

WARPSTAR(ベース)に添付のユーティリティを起動して「無線LAN設定」-「ネットワーク名が不明の場合の参照を拒否」のチェックボックスにチェックが付いている場合は、チェックを外してください。

PART

6

付録

ワイヤレスLAN機能の仕様などを説明しています。

「ORiNOCO　クライアントマネージャ」の削除(アンインストール)

Windows Me/Windows 98/Windows 2000の場合、以下の方法で「ORiNOCO クライアントマネージャ」の削除(アンインストール)ができます。

■Windows Me/Windows 98の場合

1 **「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする**

2 **「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする**

3 **「インストールと削除」タブで「ORiNOCO Client Manager」をクリックする**

4 **「削除と追加」ボタンをクリックする**

「Client Manager Setup」ウィンドウが表示されます。

5 **「削除」の◯をクリックして◉にし、「次へ」ボタンをクリックする**

「ファイル削除の確認」ウィンドウが表示されます。

6 **「OK」ボタンをクリックする**

■Windows 2000の場合

1 **「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする**

2 **「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする**

3 **「プログラムの変更と削除」で「ORiNOCO Client Manager」をクリックする**

4 **「変更/削除」ボタンをクリックする**

「Client Manager Setup」ウィンドウが表示されます。

5 「削除」の◯をクリックして◉にし、「次へ」ボタンをクリックする

「ファイル削除の確認」ウィンドウが表示されます。

6 「OK」ボタンをクリックする

OSを変更する

もともとインストールされているOS以外でご使用になる場合は、次の点に注意してください。

Windows 2000に変更する場合

チェック!! **2001年9月現在、本機のワイヤレスLANの機能はOSの制限により市販のWindows 2000ではご利用できません。**
最新情報はマイクロソフトのホームページをご覧ください(文書番号:JP279491)。
http://microsoft.com/JAPAN/support

ワイヤレスLANドライバのインストール手順

もともとインストールされているOS以外でご使用になる場合は、以下の手順でワイヤレスLANドライバのインストールを行ってください。

チェック!! **ここでは、CD-ROMドライブを使用した場合の説明が記載されています。CD-ROMドライブ以外のドライブをお使いの方は、「CD-ROMドライブ」をご使用のドライブに読み替えてください。**

1. **添付のワイヤレスLAN(無線LAN)CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする**

2. **「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする**

3. **「システム」アイコンをダブルクリックする**

4. **以下の手順を行う**
   ・Windows 98/Windows Meの場合
   「デバイスマネージャ」タブをクリックする
   ・Windows 2000の場合
   「ハードウェア」タブをクリックして「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする

5 「その他のデバイス」の「Lucent Technologies-WaveLAN/IEEE」をクリックする

6 以下の手順を行う

・Windows 98/Windows Meの場合
「削除」ボタンをクリックする
・Windows 2000の場合
「Lucent Technologies-WaveLAN/IEEE」上で右クリックして、表示されたメニューの「削除」をクリックする

7 「デバイス削除の確認」ウィンドウが表示された場合は、「OK」ボタンをクリックする

8 Windowsを再起動する

以降は、PART3の「ドライバのインストール」(→p.28)をご覧のうえ、ドライバのセットアップを行ってください。

仕様一覧

ワイヤレスLAN機能部仕様

項　目	仕　様
データ転送速度	11M/5.5M/2M/1M(bps)(自動切替)※1
準拠規格	ARIB STD-T66(小電力データ通信システム規格) IEEE802.11b(ワイヤレスLAN標準プロトコル)
伝送方式	DS-SS方式
伝送距離	見通し約70m(アクセスポイントとの通信時)※2
使用無線チャンネル	1〜11ch
RF周波数帯域	2.4GHz帯全域(2.4〜2.4835GHz)
温湿度条件	温度:5〜35℃ 湿度:20〜80%(結露無きこと)

※1:IEEE802.11b規格による速度(理論値)であり、実効速度とは異なります。

※2:通信距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーション、OSなどの使用条件によって異なります。

初版　2001年10月
853-810028-229-A